

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成28年11月14日（月）
開催時間：9時59分～11時21分
開催場所：全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長
足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員
上野議員、飛野議員、~~笹田議員~~、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員
道下議員、~~田畑議員~~、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員
牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、~~弥栄自治区長~~、三隅自治区長
教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長
産業経済部長、産業経済部参事、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長
三隅支所長、教育部長、消防長、上下水道部長、（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、~~次長~~、議事係長、庶務係長 （報道）山陰中央新報社、中国新聞

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 浜田城周辺整備検討会の開催状況について
- (2) 浜田市税条例等の一部改正について
- (3) 基準地価調査の結果等について
- (4) 平成28年度全国学力・学習状況調査結果について
- (5) 施設の所管換え及び指定期間の変更について
- (6) その他

（配布物）

- ・海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について
- ・米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について
- ・平成27年国勢調査 浜田市人口等集計結果（確定値）について
- ・シングルペアレント介護人材育成事業の進捗状況について
- ・浜田市内のタクシーの運行状況について
- ・広島電鉄高速バス「浜田駅～有福温泉区間」の廃止の申し入れに対するその後の対応状況について
- ・臨時福祉給付金等について
- ・浜田市国民健康保険事業の運営状況について
- ・はまだ創業カレッジ2016について
- ・ブランディング実践セミナーについて
- ・島根県及び山口県沖合における掘削調査の終了について
- ・ふるさと寄附について

- ・漁業別水揚げについて
- ・第2回山陰浜田港マリン大橋リレーマラソンの実施について
- ・第2次浜田市子ども読書活動推進計画について
- ・「三隅公民館作業場雨漏り改修工事」の変更について
- ・平成27年度末汚水処理人口普及率
- ・浜田市地域集会施設の用途廃止について
- ・島根あさひ社会復帰促進センターの現況について
- ・浜田市林業地域給水施設小坂地区水道取水場ポンプ修繕について

2 その他

(1) 年末調整について

- ・保険料控除申告書（該当者のみ）
- ・平成29年分扶養控除等申告書
→事務局への提出〆切 **11月22日(火)17時**

【詳細は会議録のとおり】

西田議長 | ただいまから全員協議会を開催する。今日は笹田委員と田畑委員から欠席の連絡を受けている。早速議題に移る。

1. 執行部報告事項

(1) 浜田城周辺整備検討会の開催状況について

西田議長 | この件について、地域政策部長。
地域政策部長 | (以下、資料をもとに説明)
西田議長 | 議員から質問は、森谷議員。
森谷議員 | 6ページ上部に、広島市民に対するイメージ調査とある。広島人口118万人中の約600人が回答者。この対象はどのようなものか。平均年齢42歳と言われても、どうやってサンプリングしたのか。2000分の1からの回答が統計的にどの程度信頼に足るのか。
地域政策部長 | このアンケート調査は県立大学の共同研究でお願いした。アンケートを無作為にメール配信し回答をいただく手法を取っている。回答者の平均年齢はたまたまであり狙ってはいない。浜田市の人口に割り戻しているため、これがしっかりした根拠というわけではないが、護国神社での聞き取りを行う一方でこういった調査も参考にしたのでお示した。
森谷議員 | アドレスを知っている相手に行ったのか、その辺がよく分からない。そうすると高齢者は対象から外れるし、パソコンのみが対象となると20歳くらいまでも外れるはず。アドレスはどうやって入手したのか。
地域政策部長 | 細かいことは室長から回答する。
地域PRJ推進室長 | こういった調査を引き受けている会社に予め登録している方にご協力いただいた。年齢層や性別がバランス良くなるように抽出して、協力いただいた方からの回答を得た。インターネットアンケート調査という手法は色んな形で取り上げられているので、県立大学の共同研究の中でその手法を使われて、広島市の浜田市に対する色んな調査をしていただいた。母集団の数から、果たしてこれが全てを表しているかは確かに分からないが、飽くまでも資料館の調査のために行ったものではなく浜田市全般的なニーズ調査の中から資料館に対する項目として、行ってみたいかどうかという項目があったのでそれを抽出した結果である。
森谷議員 | 細かいことは資料を提供させていただく。
森谷議員 | 資料を提供するにも限度がある。42歳平均と1桁まで出すなら、20代、30代、40代といった年齢層区分にしないと参考にならない。
森谷議員 | また、アクアスによる駐車場ナンバー調査による県外ナンバーの人が城山公園に行くだろうという推計だが、この推計根拠はどのように求められているのか。
地域PRJ推進室長 | 今回広島市民に対するイメージ調査の中で、実際に浜田の資料館においてになられたことがある方が約2パーセントいた。今後行ってみたいと回答したのは8パーセント。広島におられる方で、将来的に資料館への来場を見込める数字を出した。ただ浜田には広島以外からも各地からお客が集まるので、広島と他エリアから来られる方の割合はなかなか掴めないのので、アクアスのナンバー調査からその割合を推計し、割り戻して広

森谷議員	島からと他エリアとを含めた集客を推計した。 私は市役所内で、18歳までに郷土資料館へ行ったことがあるかをアンケート調査した。学校行事以外で訪れたことがあると回答したのは、山口県出身の1人だけだった。
地域PRJ推進室長	城山検討会によるABC案が進んでいるが、「もしも作るなら」という前提からスタートしている。作らないという選択肢は無く、ABCのどれかを選ぶという方向に知らないうちに大きく変わっているような気がする。何もしないという選択肢はまだ残っているのか説明を求める。
森谷議員 地域政策部長	今回特に2回目の検討会では、この資料館を建てることの是非、もし建てるとしたら3案を含めてどういう気持ちがあるかという聞き方をしているので、3案どれかを選ぶわけではなく、広く意見調査している。 ハッキリ言って欲しい。何もしないという選択肢も残っているのか。まだ方針を決定していないので、そういうことも絶対ないわけではない。
西田議長 牛尾昭議員	他に。牛尾昭議員。 超党はまだではこの件をディスカッションしていないため私個人の考えだが、ABCの他にD案もあって良い。何もしないという選択肢もあるならE案まであるだろう。我々議会も議員提案という形でD案をこの際出すべきだろうと。折角執行部から3案出してもらったが、それ以外にも案は必ずあると思っているので、そういうのを出しながら議論を戦わせないと、3案ありきになってしまう気がする。18日に意見交換会がありまだ日にちがあるので、その辺について研究していただければ、意見を交わす前提条件が変わってくる気がする。検討いただきたい。
地域政策部長	議論を進める上で何らかの叩き台がないと議論出来ないということだったので、これまでの意見の中で多かった意見を集約して3案をご提示させていただいた。今後も色々な意見をうかがわせていただきながら検討したい。
西田議長	他に。
西田議長	(「なし」という声あり) 無いようなので、この件については終了する。

(2) 浜田市税条例等の一部改正について

(3) 基準地価調査の結果等について

西田議長 財務部長 西田議長	この2件について、財務部長。 (以下、資料をもとに説明) (2)について議員から質問は。 (「なし」という声あり)
西田議長 森谷議員	(3)について議員から質問は。森谷議員。 地価というのは難しい。本当に売買する時価と固定資産税評価額と公示価格、どれが一番高くてどういう割合関係にあるのか。
財務部長	よく言うように路線価、固定資産税評価額、基準地価評価額、地価、1つの土地に対して4、5通りの評価額があると説明がある。これは各特徴があるのだが、路線価でも税務署の路線価と市の路線価は違う。総合的に地価公示価格が実際の取引価格に一番近い。しかしながら実際の取引

森谷議員 価格とは将来、よく言う収益還元法を使って、商業地ならこれくらいの収益があるから今このくらいで買っても大丈夫ということで上乘せがある。そういった物を総合的に勘案して評価しているので一概にこの数字を使ってとは言えないが、基本的には地価公示価格が基本になると思う。

森谷議員 結局結論は何かさっぱり分からない。時価が100だとしたら地価公示価格が80で固定資産が70という言い方なら良いが。バブルで固定資産税評価額が上がってきた場合、何に関係するかと言えば固定資産税。固定資産税が激変しないように倍率に応じて調整する。少しずつ上がって最終的にそこに到達するようにしようというシステムがあったと思う。下がった時にはちょっとずつ下がるのか。

財務部長 ご質問は負担調整の話かと思う。下がる場合はご指摘のように3年に1回しか評価しないので全国的に大変なお叱りを受けた。そのため時点修正、下落修正が行われ、浜田市も宅地については毎年評価見直しを行ってそれを来年の固定資産税額に反映するようにしている。

西田議長 他に。

西田議長 (「なし」という声あり)

西田議長 無いようなので、この件については終了する。

(4) 平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

(5) 施設の所管換え及び指定期間の変更について

西田議長 この2件について、教育部長。

教育部長 (以下、資料をもとに説明)

西田議長 (4)について議員から質問は。森谷議員。

森谷議員 単なる調査結果の発表なのだろうが、秋田県が一番良いという調査結果の件だと思う。これについて秋田の議員に理由を尋ねたところ、徹底的にこのテストのための傾向と対策をやっているだけらしく、偏差値で言えば50あたりで固まっていて上も下もないとのこと。また、上位の子は東京に出て能力を活かしている。本質を見ながらやるべき。大切なのは50、60になっても学び続けること。特殊な職業を除けば中学卒業程度の学力があれば充分。そこまでこれを必死でやらねばいけないか、実質的なことをよくお考えになって進めるべきでは。単にテストの結果だけで右往左往するのはいかがなものか。

教育部長 全国1、2位のところはしっかり対策を取られて、子ども達の力を支えていくとも言えるかもしれないが、おっしゃるように50、60になっても学び続ける所が一番大切だろうと思っている。そのためにも基礎・基本を身につけるために、小中学校で力をつけさせる。自分の目指す将来のためにも基礎を身につけて上に繋がるようにすることが、教育委員会に求められていると思っている。学力調査を子ども達に活かしていくのは大切だと思う。

西田議長 澁谷議員。

澁谷議員 全国学力調査が始まってから毎回教育委員会から分析が出ている。かなり精度の高い分析と理解して良いと思うが、現実的には島根県の小中学校の学力は全国でも低い状況で、浜田市は出雲部よりもまた開きがあるので、全国最下層から全く脱却していない。浜田市の教育環境が劣悪なことがなかなか問題なのではと思っている。現代の気温は我々の時代

よりも非常に高くなっている。基本的に浜田市内の小中学校各クラスに冷房設備を設置しなければ始まらないのではないかと。教育委員会は財政にきちんと予算要求して、来年は中学3年生から順次設置するように進められているのかお尋ねしたい。

教育部長

おっしゃるように地球温暖化の影響による学習環境悪化があると思う。冷房設備は特別教室から順次入れるように年次計画している。普通教室については今の所未定だが、今後検討していかねばならないと思っている。

澁谷議員

今後はいつなのかという問題がある。今年のヒアリングでは財政部に要求されたのか、されなかったのか。

教育部長

今年度はしていないが、来年度に向かってとりあえず特別教室の冷暖房について予算要求している。

澁谷議員

教育委員が学校現場の実情を掴んでいないということを厳しく言った。すると今回私の一般質問は広報広聴により文言を変えられた。僕は教育委員が学校現場の実情を掴んでいないと繰り返し言っている。委員はそういうことを月々の会議の中で言っておられるか。

教育部長

教育委員それぞれが学校訪問等をされて学校の現状を掴んでおられる。毎回ではないが教育委員は熱心で、浜田市の学力はどうしたら上がるか常々おっしゃっている。冷房の件もたまに話題に上る。

澁谷議員

この暑さに対してどのような対策をされているか、教育委員さんは知っているか。

教育部長

例えば普通教室に扇風機を1、2台置いたり、運動会等はミスト扇風機を置くとか、グリーンカーテンの設置等、学校独自の対策を取られている。教育委員会も一緒になって考えているし、教育委員は知っていると思う。

西田議長

他に。小川議員。

小川議員

学習環境について。平均正答率もきちんと学習する環境があることが前提だと思う。ある専門家に言わせると1つの学校に1、2クラスは授業中に歩きまわったり騒がしくなって授業が成立しない、いわゆる学級崩壊があり得るのではと指摘される方もおられる。そういう観点からの分析は今回の全国学力調査の中で行われているのか。

教育部長

いわゆる発達障害であったり配慮を要する子どもの割合はどれくらいかの調査は行われている。今普通に言われているのが5、6パーセントではないかと思う。40人学級なら1、2人はいる可能性がある。浜田市としても学校支援員だったり県に要求して加配であったりで対応している。

小川議員

平均正答率が毎年上位の秋田や石川県や福井では、活字をよく読む習慣がついている子どもの平均正答率が高いという結果が出ており、その中でもよく言われるのがN I E、新聞を教育に取り入れる取組みもされているとのこと。島根県においてもそういったものを取り入れた学習の指定校制度もあり、過去見ると水高やあるいは東中学等が対象になったらしい。最近では県西部に指定校はないということで。新聞を使った学習の効果について、市の教育委員会ではどのような見方をしているか。

教育部長

おっしゃった点は多分新聞にも載っていた気がする。新聞を読む子は学力との相関関係があって学力が高いと分析されていたはず。島根県において指定校も設けているが、恐らく文字を読むことが国語力に繋がる

等関係するのだろうと思っている。浜田市においても国語力を中心にして子ども達の学力を上げていくことを進めているところ。分析の中で浜田良かったと思っているのが、学校図書館や地域の図書館を利用する児童生徒の割合というのが、浜田は全国・県に比べてもかなり高い所だった。そういう意味では浜田は可能があると思っている。

小学校では30分以上本を読む子ども・児童の割合も高いし、そういった意味では子どもたちについて国語教育、学校図書館教育が浸透してきているように覆う。

小川議員

一般的に先ほど言われたように、新聞を読む子の正答率が高いとも言われるが、先日総務文教で視察された時に、学校図書館に新聞が配置されているかについてもお伺いしたが、予算が確保されていないという話もあった。全国的に配置状況は50パーセントを切っているようだが、浜田市の現状はどうか。

教育部長

数字を持っていないが、恐らく新聞を入れている所と入れていない所がある。特に子ども用の子ども新聞を入れて読ませている所もあろうと思う。学校も新聞の重要さは思っているので、市の教育委員会として側面的な応援をしていければと思っている。

西田議長

続いて牛尾昭議員。

牛尾昭議員

全国比較だが、全般的に浜田市の子ども達が低いのかと思っていたら、ある学校においては全国平均を上回っていることを最近知った。そうすると劣悪な教育環境だからというのは当てはまらないのだろうと思う。逆に言えばこういう中でも全国・島根県平均を上回っている学校があるのは非常に注目に値する。逆に言えばそういう事例があるならその事例を対応の中に組み込んでいかれるべきだろう。そういう話を聞くまでは僕も、この報告書を読んでそんなものなんだろうと思っていた。それこそ部長の方で把握しているしいわゆる成功モデルなので、市内で広めていく。今後の対応の中に1行も書かれていないのだが。今後はどうなるのか。

教育部長

全国学力調査が出ると、全ての学校がだいたいどれくらいにあるかも分析する。また各校の校長先生が集まる校長会においてこういった説明もして、他校の状況も分かるようになっている。それから学校訪問をすぐ行い、この学校はこうだということで対応している。また良い事例を他の所にも紹介したりしている。色んなことを今やっているが、議員がおっしゃったことも改めて良い取組みは特に周知を図っていきたい。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

では(5)について質問は。森谷議員。

森谷議員

これ指定管理でほとんどの所がやっていると思うが、こちらの都合で勝手に変更して、指定管理側で戸惑いはないのか。

教育部長

指定管理者とも協議して、こういったことで対応していくとご相談をして納得いただいている。

森谷議員

指定管理の個性が活かされるのは良いことだとは思いますが、現実には私は水泳教室に通っているが、アクアみすみでは免許証の写真をコピーして会員証を作ってくれる。黒川の温水プールでは入会の申込書さえ5分10分かけても探せない。出てきたと思ったら写真を3センチ2枚用意して、既

教育部長	<p>往症も全部書けと言われる。それをやると言えば今度は「お前は議員だ、高原さんと話をして入ってくれ」と。訳が分からない話。私はそこに入会もしたくないから結局ペアーレに行った。ペアーレは会員証も何も無い。教室行くときどうするのかと言うと少ないから先生が顔を覚えておられるから、とそういう感じ。すごく居心地が良い。あまりに差があるが、この辺の刷り合わせ等は無関心で良いのか。</p>
西田議長 澁谷議員	<p>それぞれ設立した経緯があり、それまでのことを踏襲しているのだろうと思う。特にアクアみすみは三隅中央公園、ここがこれまでは維持管理課が所管をしており、今度は生涯学習課になると。黒川の温水プールは生涯学習課がやっており、これまで管理者が違っていたということがあるので、この辺りは見直して、同じ視点で見て申請書等を合わせていく事は考えられると思う。</p> <p>その他。澁谷議員。</p>
教育部長	<p>現在5年の所が3年2年と短くなっている。この理由は何故か。こういうことをすると受けた所の経営プランニングに支障をきたすような気がするが。</p> <p>受ける所が教育文化振興事業団になろうかと思う。31年で終わって32年からは一括して同じ期間になろうかと思う。一括管理がしやすいのではないかという理由でこのように合わせている。この辺りも相手指定管理者とも相談して方向を調整している。</p>
澁谷議員 教育部長	<p>私の質問に全然答えてないだろう。5年が何故2年になったか。</p> <p>同じ指定管理者でありながら、例えばこの公園は何年まで、あの公園は何年までと、担当課も期間も違う。そこを生涯学習課に統一し、指定期間も1つにしていく方向で調整を図りたかったのが理由である。</p>
澁谷議員	<p>5年あったのが何故2年かと聞いているのだからその説明と、ずっと2年ずつなっていくのか、最初は2年だが次は3年や5年だとか。分かり易く。</p>
教育部長	<p>これまでだいたい5年でできている。その5年の周期がそれぞれ違っていた。例えば上の中央会館が28年度末まで。3、4、5つ目が29年度までの5年間。すべて5年間で区切っていたが周期が違っていたので、まず周期を1つにして、次の始まりは3年なり5年ということで揃える、課も揃えるし始まりの期間も揃えたいということ。</p>
西田議長	<p>他に。</p> <p>(「なし」という声あり)</p>
西田議長	<p>無いようなので、一応報告事項は終了する。</p>

(6) その他

(配布物)

- ・海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について
- ・米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について
- ・平成27年国勢調査 浜田市人口等集計結果(確定値)について
- ・シングルペアレント介護人材育成事業の進捗状況について
- ・浜田市内のタクシーの運行状況について
- ・広島電鉄高速バス「浜田駅～有福温泉区間」の廃止の申し入れに対するその後の対応状況について
- ・臨時福祉給付金等について

- ・ 浜田市国民健康保険事業の運営状況について
- ・ はまだ創業カレッジ2016について
- ・ ブランディング実践セミナーについて
- ・ 島根県及び山口県沖合における掘削調査の終了について
- ・ ふるさと寄附について
- ・ 漁業別水揚げについて

(裏面へ続く)

- ・ 第2回山陰浜田港マリン大橋リレーマラソンの実施について
- ・ 第2次浜田市子ども読書活動推進計画について
- ・ 「三隅公民館作業場雨漏り改修工事」の変更について
- ・ 平成27年度末汚水処理人口普及率
- ・ 浜田市地域集会施設の用途廃止について
- ・ 島根あさひ社会復帰促進センターの現況について
- ・ 浜田市林業地域給水施設小坂地区水道取水場ポンプ修繕について

西田議長	その他について、執行部からその他報告事項があれば。 (「ありません」という声あり)
西田議長 森谷議員	では議員からその他で何かあれば。森谷議員。 例のタクシー会社の件だが、9月の一般質問で砂川部長は「税のことに ついては私らは何も知らない」と言われたが、8月23日の業務日報を見せ てもらったら、砂川部長の名前も副市長の名前も全部載っており、対応 されているのが見てとれる。答弁の内容とも違うし、議員の名前も書いて あるし、これが口利きに該当するようなら問題にしなければいけない のだが。私はタクシー会社の社長にも部長にも会っており、かなり深い 所まで知っているのだが。本当のことを話してもらいたい。
地域政策部長	この前9月議会にご質問いただき答弁させていただいたように、納税の ことやその内容等について私ども所管ではないので、そういうことをお 伝えしている。議員の方からお電話いただいたのは、支払期間等が1ヶ月 とかであると、通常はその日に現金が入るわけだがそれが1ヶ月纏めてと なると、その間の資金繰り等が大変だということで、支払状況等をお尋 ねいただいたということで、税のことは私どもではお答えしてない。
西田議長 森谷議員	他に。森谷議員。 都市建設に関わる所だと思いがいらっしゃるか。都市開発公社の理事 が原井校跡地の売却が進むというようなことを言われて、入札があつて 金はまだけど契約が決まったというのは重大ニュースなのだが、報告 やお知らせがない。知らせてもらうべきかと思うのだが、言える範囲で 簡単に言ってもらいたい。
都市建設部長	8月の全協で原井小跡地を入札にかけると申し上げた。10月に入札を行 い落札されている。お金が今月21日までに振り込みをいただくことにな っており、まだ振り込みがない。それが確認できた時点で公社の理事の 皆にそのことをお知らせし、その後この議会でも詳細についてお知ら せする予定である。
森谷議員	詳細は置いておいても発表出来ないのか。イズミだとかウェルネスだ とかコスモスだとか、色んな会社があると思う。簡単に発表出来ないの か。
都市建設部長	それについても入金を確認して、契約が成立したことをもって発表さ

西田議長 足立議員	<p>せていただこうと思っている。</p> <p>他に。足立議員。</p> <p>先ほど森谷議員が触れたタクシー敬老乗車券のことについて、総務文教調査会の録音を聞いた時に、多分担当課長の説明で「タクシー会社を助けるつもりでやってはいない、地域住民の利便性を高めるためにやっている」といった答弁があった。9月議会の部長答弁では「これはそもそも弥栄自治区で提案されて、公共交通機関の利用を高めることと、地域住民の利便性を高めるため」と述べられている。ということは課長と部長の話が若干違う気がする。説明を求める。</p>
地域政策部長	<p>敬老乗車券については先般の総務文教調査会で課長が申したように、高齢者の方の交通手段確保、あとは公共交通の利用促進のような観点が目的。タクシーだけでなく公共交通事業者への支援が目的ではないが、3月議会で議決いただいた地域資源活用推進条例の中に、間接的な支援という言い方でこういうのもあるよということで、公共交通の利用促進が進めば事業者の売上支援にもなるということで、間接的支援としての内容があるということで、目的は利用者特に高齢者の移動手段確保という、同じ考えでやっている。</p>
足立議員 地域政策部長 足立議員	<p>ということは課長もその考えの中での答弁だったということか。</p> <p>はい。</p> <p>了解した。それから、先日の総務文教調査会における岡野委員の質疑の中で、不公平感があるのではという話があった。聞いていて私も思ったのだが、税金の滞納、ましてや特徴を滞納されている中で一方ではそこに対して市の公共的なお金も含めたものを支給しているにも関わらず、他の業者は競争の中でやっている中でまともに税金も払っていて、確かに不公平だと私も感じた。その辺りを浜田市として、部長は担当外と言われるかもしれないが、例えば税を取り扱っている部長はその辺をどう考えているのか伺いたい。</p>
財務部長	<p>個別の件に関して滞納状況等はお答えできない。もし仮にそういうものがあっても、この場で説明はできないのでご了承いただきたい。</p>
足立議員	<p>答えられないとのことなのでこれ以上言っても仕方ないのかもしれない。ただ先ほど部長のお話の中で、森谷議員が多分個人情報開示請求に基づいて各議員のボックスにその件を入れておられた。それを見た時に、先ほど部長は資金的部分の支払について述べられたが、内容を見る限りとてもそのような内容には見えなかったと思う。議員が誰か知らないが税金の滞納について足を踏み入れることは、あってはならぬと私は思っているのだが、きちんと説明できる範囲を説明していただかないと、政治倫理条例違反にも該当する案件なので、はっきり答弁してもらいたい。先ほどののは、部長の名前と副市長の名前があったので、その辺りお話を願います。</p>
副市長	<p>確かに私にもお電話があった。その内容は現在浜タクの経営状況が厳しいことを知っているかというお尋ねだった。私はその時はまだ分からなかったので、そういう状況があることは担当部にもお知らせしておくかと答えた。中に踏み込んだ話ではなかった。</p>
足立議員	<p>別件だが、今度はシングルペアレントのことについて少しお尋ねする。シングルペアレントで予算決算委員会の中にも同僚議員から、自然減・</p>

社会減について色々お話があったが、担当課長から「その辺は把握していない調査していない」という答弁だったと思う。今回の資料を見ても第4期を募集するとかいうお話があったと思うが、やはりその辺りは調査するなりの努力を出していただかないと。あれだけ予算委員会で同僚議員からも「しっかり確認してもらいたい」というお話があったし、シングルペアレントをこれだけ続ける以上は、この事業が浜田市の人口動態にどのように影響するかも把握したいので、現状を教えていただきたい。

地域政策部長

人口減少対策は浜田市の最大の課題。自然減対策・社会減対策。社会減については地元になるべく残ってもらうこととU・Iターンを促進することで、その手段の1つとしてシングルペアレント事業がある。実際今の社会増減の状況把握は重要だろうということで、ちょうど1年前から転入転出の際にアンケートをしており現在集計中。内部では色々な分析もしているが、まだ1年経ってないため前年比較が出来ず公表等もしていないが、きちんと整理が出来たらお示しする。何か効果があったかは別だが、今年度4月から10月までの住民票移動状況の社会増減でいくと、昨年同期よりは減少が少なくなっているというのは市民生活部の報告で聞いている。

足立議員

効果の有無は別としてそのようなお話があったということで。そうであれば是非とも資料を開示していただき、この事業は浜田市にとってメリットがあると議員側としても確認したいので、その点をお願いします。

続いて別件だが、ふるさと寄附のことについて少しお話したい。先日産業建設調査会で説明があったが、対前年月90パーセントくらい回復したというようなお話だったと思うが、ふるさと寄附の市場規模が2兆円と言われている。この2兆円とは全国のタクシー・バス事業の総費用が約2兆円なので、だいたい同規模だと思う。それだけ未来のある事業だと私も認識しているし、多くの議員が一般質問もしているので、それだけ感心があるはずなのに、全協でたかだか配布物で終わっているのは非常に残念だ。思うに議題の中に5項目の毎月の収入状況、寄附状況、対前年比どうなっているのか、そういう資料を是非とも提示していただきたい。これは真水部分になる事業だと思うので、その辺り担当部長はどのようにお考えか。

産業経済部参事

ご指摘のように今回の資料提供については産業建設調査会の中でもご指摘をいただいた。前年との月単位比較に重点を置いた内容になっていた。これを年度単位、あるいは寄附項目5つに対してどういった規模の寄附があったのかを含め、もっと分かりやすい内容にして今後委員会等でお示ししたい。

足立議員

今後示していただけるとのことなのでお願いします。

一方では先般、会派内で勉強会をさせていただいた中で、事業者連絡会と話し合いを持った時に、現状市と事業者連絡会との中が非常におもわしくない、まだ上手く確立出来ていないという話もあった。そのお話の中で、予算決算委員会でも出たが、例えば事業者側への支払が若干遅れて遅延金が発生してしまったとか、そういう話があったと思う。もう1つ、内部職員において適正処理が出来ておらず処分があったという話もちらっと伺った。その辺りをお話いただけないか。ふるさと寄附は上手く行っていると思っていたのだが、上手く行っていない状況があるのでは

産業経済部参事

と思う。お話できる範囲で願います。

事業者連携会との連携についての質問については、連携会も4月に立ちあがり、部署も産業経済に移ったりで、お互いに事業について熟知していない状況の中でふるさと寄附を進めている所。確かに事業者との連携が充分でなかったという所はあったように思っている。本当であれば連携会と市担当との定期的な連絡会的なものも持ちながら進めるべきだったと思っている。しかし夏場以降については色々なご指摘をいただきながら、事業者あつてのふるさと寄附でもあるので、しっかり連携を取りながら進めている。

職員の問題についてだが、これについては9月の予算決算委員会の中で議員へお答えしているが、確かに事業者委託料が遅延したことによってご迷惑をかけた。ただこの分については業者のご配慮によって延滞金等は発生していない。あるいはまた旅費の請求等も遅れたといったような不適切な事務があったことについては報告させていただいている。そういった不適切な事務があったのであれば、市として適正に対処する必要はあるかと思っている。今後についても不適切な事務等が発生する、発生した場合は、議員へも報告等させていただきたい。

足立議員

事業者側から、実は職員の不正なり、そういったものに対して処分があったのではないかという話もちらっと聞いています。その辺りはまだ執行部から何も聞いていない。実際に処分といった話はあったのか。

総務部長

先ほど参事からお答えしたように、ふるさと寄附については9月の予算決算委員会の中で少し事業者との連携が上手く行っていない等々の話もあったので、関係する職員なり情報を提供くださった皆さんに対して事情聴取をさせていただいた結果、職員が不適切な事務を行っていたため、なおこれはふるさと寄附に直接関わるものではないが、事務処理の中で不適切な部分があったということで、懲戒処分とさせていただいた。ただし一般的には浜田市懲戒処分の公表に照らし合わせると、公表等をするのが筋だが、その公表基準の中に他への影響等がある場合は公表をしないというのもあるので、ふるさと寄附については特に事業者への影響等があまり出てもいけないので、そのようなことを鑑みて公表を控えたが、職員に対する処分は適切に実施している。

西田議長

その他で他に。原田議員。

原田議員

私もふるさと寄附について少しお聞きしておきたい。私は産業建設委員会所管なのでおかしなことは言えないが、実は11月7日に産業建設調査会があった際、一定の指摘させていただいた。参事から答弁をいただいたが不明瞭な点があった。中身は詳しく聞いていないが、真実かどうか問いただしたところ、真実だと話だった。その後11月8日に会派研修会を実施した。その時には連携業者の方にもご参加いただき、色々勉強になったし、昨年も21億ばかりの実績があったわけなので今年も是非頑張りたいという気持ちで研修会を開いたのだが、その際も色んな話があった。研修会中よりもその後の個人的な会話にて色々聞いた。その後執行部の方から詳しい説明も、色んな問題点についても聞かせていただいたが、思うに業者の方が言われているのと執行部から聞かせていただいた話について、どうも乖離があるのでは、真実が我々に伝わっていないのではないかという気がするし、業者の方からも否定の声が出ている。

全体的に報告がないので分からないのだが、私個人に対し執行部から説明をいただいた内容が違うのではと思っている。あった事はあったように事実を知らせていただかないと、我々も聞かれても答えようがない。ふるさと寄附がこうしたことで逆に落ち込むようではいけないとも思っているので、出来るだけ問題点は問題点として洗い出して昨年以上に実績が出る方向へ持っていかないといけない気がしている。その点どのようにお考えなのか再度確認させて欲しい。

副市長

今回の件は決算委員会等でも出ていたが、延滞金が発生するほど委託料精算が遅れていた。これは事業者の方がご理解くださり延滞金も発生しなくなっている。また、旅費関係の精算が遅れていた点も不適切な処理があった。これについては私含めて調査しており、職員の処分については市長専決事項なのできちんと対応させていただいている。これ以上色んな話が出てくるとこれから11、12月、ふるさと寄附しっかり入れていただく時期なので、体制も室長を設けて強化しているのでその辺はご理解いただき、きちんとした処分をしているのでよろしくお願ひしたい。

原田議員

私が聞かせてもらっている話については全く間違いないということですのでよろしいか。はい。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

では執行部はご退席いただいて結構。

《 執行部退室 》

2. その他

(1) 年末調整について

- ・ 保険料控除申告書 (該当者のみ)
- ・ 平成29年分扶養控除等申告書

→事務局への提出〆切 11月22日 (火) 17時

西田議長

その他、局長。

三浦局長

年末調整該当者の方のみに申告書を配布している。11月22日(火)午後5時までに事務局へ提出いただきたい。12月分の報酬で処理するので期限厳守。不明点は庶務に問合せ、至急提出をお願いする。

この後の日程だが、自治区等特別委員会は会場準備して11時半開会していただく。もし昼からもかかるようなら委員長判断で昼から再開ということもあろうかと思うが。昼からは自治区が終わって議会改革特別委員会を開くという日程でいきたいと思うので、ご協力をお願いする。

西田議長

他に。

(「なし」という声あり)

西田議長

以上を持って全員協議会を閉じる。

[11 時 21 分 閉議]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西田清久